

2025 年度 ひょうご人権総合講座

見どころ
聴きどころ

【部落問題】～歴史と現状を、基礎から学ぶ～

部落差別問題について学ぶ機会が少なくなる中、「部落差別なんて、まだあるの?」「『差別差別』と言いつつ言い過ぎるからなくならないのでは?」などと言われることがあります。

わかりやすいと定評のある3人の講師による「部落問題」論。この機会に、じっくり学んでみませんか。

部落問題①(総論) 9月4日(木) 10:00～12:30

「部落問題(再)入門」／内田龍史(関西大学社会学部 教授)

「部落問題」を学ぶにあたっての入門編。差別が生じるメカニズムや部落問題の概説、理解のための用語などを丁寧に説明。部落差別をなくするためには何が必要なのかを参加者とともに考える講座です。

講師の専門は、差別と共生の社会学・マジョリティ-マイノリティ集団関係論。『部落問題と向きあう若者たち2』、『現代の部落問題』など著書多数。



部落問題②(歴史) 9月4日(木) 13:30～16:00

「部落史に学ぶ 部落史から学ぶ」／

宮前 千雅子(関西大学人権問題研究室委嘱研究員)

部落史を学ぶことは、部落とは何かを明らかにし、差別とは何かについて深く洞察すること。史資料を通して具体的な事象から歴史を知っていく講座です。部落問題とジェンダーの絡み合った課題として部落女性の歴史の一端も紹介されます。近著に『部落フェミニズム』(共著)



🗨️「他の市職員にも聞いてほしいくらいわかりやすかった」
昨年の講座参加者〔自治体職員〕

部落問題③(現状) 9月11日(木) 10:00～12:30

「部落差別をめぐる現状と課題」／

北川 真見(部落解放同盟兵庫県連合会書記次長)

2016年の部落差別解消推進法の施行以降、兵庫県内でも11市町で条例が制定され、ネット上の差別書き込みのモニタリングも実施されていますが、悪質な部落差別事件は後を絶ちません。

部落解放運動の第一線で活躍し、年間50件以上の講演をおこなう講師が、近年おこっている部落差別の事例を紹介しながら、これからの部落問題学習のあり方、教育・啓発の課題を提起します。

🗨️「(差別的な問合せ等に対し)学習することで、きちんと対応できるとわかりました」
昨年の講座参加者〔自治体職員〕

申込締切は7/31ですが定員に空きがあれば受講いただけます。各講座の開催日1週間前までにお問合せの上、お申込みください。